

公式記録確認シート

■ 確認シート作成日:2025.
■ 大会名等:第50回社会人野球日本選手権大会

11.5第5日目 第2試合【王子 vs 日本製鉄山口】 11.08第8日目 第1試合【王子 vs NTT東日本】

■ ネット中継等から、(公式記録として)記録規則適用で迷ったり、適用する規則確認など 判断や規則適用が疑義に感じた事項について記載

■ **安打か失策か?アウトの対象者は誰か? 進塁した要因は? 記録シートの記入方法によって公式記録が異なることがある。**

2025.11.5 大会5日目 第二試合 王子 vs 日本製鉄山口 ■王子5回裏攻撃、無死一塁からのセカンドゴロ失策。アウトの対象者は誰?どうなる失点・自責点

<p>一球速報</p>	<p>公式記録</p>	<p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 ⑦</p> <p>■2番打者 四球で出塁、無死 一塁 ■3番打者 セカンドゴロ、公式記録は二塁手の失策として アウトの対象者は打者走者と判断、 無死 一・二塁 ■4番打者 セカンドフライアウト 一死 一・二塁 ■5番打者 レフトへの安打 二塁走者は三塁を回り得点、打点1が記録され、投手記録は失点1、自責点1 と記録</p> <p>↓</p> <p>■3番打者 セカンドゴロ《二塁手の失策、アウトの対象は打者走者》→《アウトの対象は二塁手の動きから一塁走者》とした場合の記録は</p>		<p>■2番打者 四球で出塁、無死 一塁 ■3番打者 セカンドゴロ、公式記録は二塁手は少し半身の体制で捕球後に二塁へ送球しようとしてハンプルした動きに見えた。アウトの対象者は一塁走者と判断、</p> <p>※シートの記入、アウトの対象者に失策記録を付与、打者には打球表示を記入し、野手失策の表示はダブルで記号表示しない、アウトの対象者が誰なのか不明となるためである。</p> <p>■4番打者 セカンドフライアウト 一死 一・二塁 ■5番打者 レフトへの安打 二塁走者は得点、打点1が記録。投手記録は 失点1、自責点0 となる</p> <p>※シートの記入、得点は非自責点表示、アウトの対象者が得点した場合は非自責点となる。記録員の判断(野手の動きなどから)によりアウトの対象者が明白となって投手記録も正規となる。</p>
-------------	-------------	---	--	---

2025.11.8 大会8日目 第一試合 王子 vs NTT東日本 ■NTT東 5回表 一死一塁から二塁ゴロ失策 アウトの対象者と失策or安打の判断

<p>一球速報</p>	<p>公式記録</p>	<p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 ⑬</p> <p>■1番打者 ライト前安打で出塁、無死 一塁 ■2番打者 ファーストファールフライアウト 一死 一塁 ■3番打者 セカンドゴロ、記録は二塁手失策アウトの対象者は打者走者、一球速報シートでは、二塁手失策で一塁走者一気に三塁。無死 一・三塁 ■4番打者 レフトへの安打 三塁走者は得点、打点1が記録され、投手記録は失点1、自責点0 と記録</p> <p>↓</p> <p>■3番打者 セカンドゴロ ■《二塁手の失策、アウトの対象は打者走者》 ■《アウトの対象は二塁手の動きから一塁走者》 ■シートの記入方法によって、記録が歪む可能性があり ■動画が確認できない場合、公式記録が抛り所である</p>		<p>■1番打者 ライト前安打で出塁、無死 一塁 ■2番打者 ファーストファールフライアウト 一死 一塁 ■3番打者 セカンドゴロ、記録は二塁手失策アウトの対象者は打者走者、</p> <p>※一球速報シートは、二塁手失策で一塁走者一気に三塁とあり、打者走者にも失策記号がある。これは二塁守備のアウト対象者が一塁走者か打者走者か不明、公式記録は打者走者に失策記号あり、動画からも対象者は打者走者で三塁の進塁が失策によるものであることが確認できる。 ※一球速報シートの失策が絡む記入方法では、注意を払わないと記録が歪む可能性がある。</p> <p>※公式記録は打者走者に失策記号あり、動画からも守備対象は打者走者で三塁の進塁が失策によるものであることが確認できるが、記号記入的には「3番打者の打球失策で一気に三塁とあり、打者走者が二塁三塁の進塁が失策によるものと誤解を生む可能性がある。よって進塁の事由を明確に(4E-)と記載した。 ※個々に進塁を明確に、次打者以降の安打(単打か長打)で、自責点・非自責点の判断が可能となる。 また、打球は不規則的打球で安打か失策か、おおいに迷うところだが記録員の判断尊重するものである。</p> <p>■4番打者 レフトへの安打 三塁走者は得点、打点1が記録され、投手記録は失点1、自責点0 と記録</p>
-------------	-------------	---	--	--

10.30第3日目第2試合【北海道ガスvsJFE西日本】 11.09第9日目第1試合【Honda熊本vsNTT西日本】

■ ネット中継等から、(公式記録として)記録規則適用で迷ったり、適用する規則確認など 判断や規則適用が疑義に感じた事項について記載

■ **審判の判定が確認できなかった場合や記録員が助言できる項目について。その確認方法や助言方法について考える。**

審判と公式記録との連携 ① 北海道ガス vs JFE西日本

7回表 JFE西日本 無死満塁からの攻撃
北海道ガス 無死満塁からの守備、三塁手へのゴロとその後の審判ジェスチャー

2025 第50回



社会人野球日本選手権
「動画clip」 clip ②

■無死満塁から三塁ベース寄りにゴロ打球、三塁塁審フェア打球判定ジェスチャー
■三塁手捕球し三塁ベースタッチも、三塁塁審はフェア打球のセーフジェスチャーのまま、三塁ベースタッチの判定は行わず。三塁手は立ち上がり、三塁走者にタッチするも三塁塁審判定のジェスチャーせず。《三塁ベースタッチで二塁走者は封殺、三塁手へのタッチプレーは占有権の関係からベース上いたことからセーフ》
■三塁手は二塁へ送球、二塁手は送球を受け二塁ベース踏んだ《二塁塁審は上記の判定ジェスチャーがないことから、何ら判定のジェスチャーができなかったのではないか》
■二塁手は《既に封殺アウトの》走者が三塁へ走ったので三塁手へ転送。
■三塁手はボールを受け、三塁走者が本塁へスタートしたので捕手へボール転送、捕手が三塁走者をタッチ《この時三塁塁審はタッチアウトのジェスチャー》しアウト。ボールデッドとして審判協議に入った。

審判団説明

clip ③

■審判協議内容説明
三塁ゴロベースタッチで二塁走者は封殺、二塁へ転送し一塁走者封殺、二塁手から三塁・捕手へ転送し三塁走者アウトで三重殺成立
■公式記録との連携
審判からの場内説明により記録員との連携は確定、三重殺の記録が確定した。難しい打球や一瞬の判断等であるがフェア・ファールアウト・セーフの最低限の審判のジェスチャーによる判断・判定は公式記録の拠り所である。この事例は公式記録員からの助言事項に当たらないと考える。

審判と公式記録との連携 ② Honda熊本 vs NTT西日本

延長13回裏タイブレーク NTT西日本の攻撃前
Honda熊本投手交代 交代が認められない投手交代とその是正措置

2025 第50回



社会人野球日本選手権
「動画clip」 clip ⑮-6

■延長13回裏NTT西日本攻撃前に、主審がアナウンスに投手交代を告げる場面あり、交代の放送が聞こえる。この時点で前任投手がファールラインを超えていたかの確認が、審判や公式記録員が出来たかは不明。映像では、交代投手が投球練習中である。
■【規則5.10プレイヤーの交代(i)すでに試合に出場している投手がインングの初めにファウルラインを越えてしまえば、その投手は、第1打者がアウトになるかあるいは一塁に達するまで、投球する義務がある。】とある。
■その後、《誰かの助言を受けて》「投手交代は認められない」ことを場内放送説明し、前任投手が再登板した。

■審判協議内容説明
《誰かの助言を受けて》「投手交代は認められない」こと、規則5.10(i)を場内放送説明し、前任投手が再登板した。
助言は塁審か控え審判か、対戦チーム関係者が不明であるが、公式記録員からの助言でないことは状況から判断できる。
■公式記録との連携
審判からの場内説明により記録員との連携は確認できる。しかし本事例は公式記録員からの助言できる項目であり、ファウルラインを越えての交代であれば、**速やかに助言すべきである**。
■助言の方法
ネット裏から直接助言できるが、京セラドーム等の記録席設置もあり、**内線・携帯・トランシーバーでの助言伝達方法はあるが、記録員から直接控え審判への伝達が良い**と考える。《記録員→放送席→審判員》では、伝達スピード感に欠けるのではないかと。

【公式記録事例④】

公式記録確認シート

■ 確認シート作成日:2025.
■ 大会名等:第50回社会人野球日本選手権大会

2025.11.11 第11日目 第 2 試合 【 NTT東日本 vs ヤマハ 】

- ネット中継等から、(公式記録として)記録規則適用で迷ったり、適用する規則確認など 判断や規則適用が疑義に感じた事項について記載
- 安打か失策か、判断に悩むプレーが続いた試合、それぞれの判断に理由はある。記録員の見るポイントによって結果が大きく変わる事例の試合を提示した。
- **判断が難しい事例、特に安打か失策か、また野手選択かに特化した事例を共有した。**

NTT東 vs ヤマハ 珍しい同一試合で同様な打球判断4事例		東邦ガス vs 三菱重工West 8回裏一死一・三塁からの三塁線への打球	
<p>◆NTT東 1回裏 二死 三塁から 5番中村の打球◆</p> <p>公式記録 失策</p> <p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 ⑩-01</p> <p>投手頭上を高く越えた打球、バウンドを合わせるのが難しい、前進した遊撃手は合わせ損なったようで、打球はセンタに抜けた。 なお、この試合の解説者は「非常に難しい打球であり安打でも・・・と意見を述べている(解説の動画clipは ⑩-00)」</p>		<p>東邦ガス 7回裏 一死 一・三塁から 4番若林の打球</p> <p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 clip ⑤</p> <p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 ⑩-02</p> <p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 ⑩-03</p> <p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 ⑩-04</p>	
<p>◆NTT東 4回裏 二死 無走者から 6番保坂の打球◆</p> <p>公式記録 失策</p> <p>投手頭上を越えた(投手ジャンプしたが届かなかった)。 思い切り前進するしかない二塁手は打球をグラブに当てたが捕球できず、一塁への送球は成らなかった。</p>		<p>2番 金田</p> <p>3番 宮下</p> <p>4番 若林</p> <p>5番 柴田</p>	
<p>◆ヤマハ 5回表 一死 無走者から 4番網谷の打球◆</p> <p>公式記録 内野安打</p> <p>3番打者の同点本塁打直後、4番網谷が初球を二塁ベース後方付近へ</p> <p>二塁手が半身の体制でグラブに触れ弾く、遊撃手がホロ一、一塁送球したが間に合わなかった</p>		<p>■三塁に走者あり、もともと三塁ベース寄りに守備していたこともあり、ベース寄りの打球を捕球できた。 ■捕球できたが、体制が崩れたままで本塁送球が高くそれた。 ■公式記録は「内野安打」、一塁走者の三塁進塁と打者の二塁進塁は失策による進塁。</p>	
<p>◆NTT東 8回裏 一死 三塁から 3番直井の打球◆</p> <p>公式記録 内野安打</p> <p>投手頭上を超えた打球、二塁手が投手後方まで前進しなんとか捕球した。</p> <p>体制が崩れてしまい、ジャンピングスローを試みたが一塁へは送球できなかった</p>		<p>■内野安打と送球ミスの判断に対し ■下記の考え方と判断の見方もある</p> <p>■もともと三塁ベース寄りに守備、ベース寄りの難しい打球であったが捕球できた。体制が崩れたが、整え一塁送球でアウト獲得が可能との判断であれば「内野安打」の記録はない。ベース寄りの難しい打球だけで安打とするのは早急と考える。 ■打球を確保出来たが、体制が崩れたままで本塁送球、高く逸れる。上記事項を踏まえると、「野手選択と失策」の選択肢であるが、体制整え本塁送球でアウト獲得との判断であれば「失策」であり当然打点もない。また、走者スタートがよく、体制整え本塁送球も微妙との判断であれば「野手選択」と考える。 動画を見ると、体制整え本塁送球で間に合うとの見方ができる。ベース寄りの打球を処理したが、そんなに慌てず・焦らなくても良かったと思えるプレーである。</p> <p>■公式記録員は投手が投球した時、打撃があった時、走者が動いたときなどプレーが開始され終了した時に、早急に記録員が判断する事項を決定しなければならない。この事例のような難しい場面では特に、走者の数や守備位置など状況を把握念頭に入れ、記録員としての判断事項や適用した記録規則を説明できることが大切、それができるのが公式記録員である。</p>	

【公式記録事例⑤】

公式記録確認シート

■ 確認シート作成日:2025.
■ 大会名等:第50回社会人野球日本選手権大会

2025.11.07 第7日目 第 2 試合 【 東邦ガス vs 明治安田 】

- ネット中継等から、(公式記録として)記録規則適用で迷ったり、適用する規則確認など 判断や規則適用が疑義に感じた事項について記載
- 一球速報シートから記録判断に疑問、映像を確認して確信。適用規則の理解不足と勘違いを指摘して「公式記録」を訂正依頼とした事例。

プレー状況等	公式記録員判定、判断	スコアシート記載	疑問事項、確認事項・項目など。記録員としての意見や対処方法等
<p>一球速報シート</p>	<p>公式記録訂正</p>	<p>★東邦ガス 8回表の攻撃 一死 一・三塁からスクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 6番 ライト前安打 ■ 7番 ライト前安打、無死 一・三塁 ■ 8番 レフトヘファールフライアウト 一死 一・三塁 ■ 9番 初球にスクイズ慣行も「空ふりストライク」、結果的にはダブルスチールの形となり、盗塁は失敗である。 	<p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 clip ⑩</p>
		<p>9.07 盗塁・盗塁刺</p> <p>(a) 走者が投手の投球に先立って、次塁に向かってスタートを起こしていたときは、...その走者には盗塁を記録する。 (h) 次に該当する走者が、アウトになるか、失策によってアウトを免れたと記録員が判断した場合にはその走者には盗塁刺を記録する。すなわち(1)盗塁を企てた走者(2)塁を追い出されたために次塁へ進もうとした走者(元の塁に戻ろうとした後に次塁へ進もうとした走者も含む)(3)盗塁を企ててオーバーライドした走者がそれである</p> <p>また、ダブルスチールに関しては</p> <p>(d) 重盗、三重盗に際して、ある走者が奪おうとした塁に達する前か、あるいは、塁に触れた後オーバーライドして、野手の送球によってアウトにされたときは、どの走者にも盗塁は記録されない。</p> <p>とあり、一塁走者は盗塁でなく 二塁への進塁は【「フィールダースチョイス」(野手選択)の(b)ある走者が、盗塁や失策によらないで、他の走者をアウトにしようとする野手の他の塁への送球を利用して進塁した場合】に該当し、野手選択による進塁である。</p>	
		<p>◆公式記録の訂正</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 6番打者 「2-5T.O」 → 「CS2-5T.O」、打撃成績の盗塁刺 +1 ◇ 7番打者 二塁への進塁「S」盗塁 → (2-5) 野手選択間の進塁 	
		<p>★東邦ガス 6回表の攻撃 一死一塁から 牽制死 or 盗塁刺</p>	<p>2025 第50回 社会人野球日本選手権 「動画clip」 clip ⑨</p>